

ふたばこども園

園 便 り 6 月 号

ふたばっ子

令和7年6月2日発行

文 責 園 長 納 富 博 文



あじさい

今年も「災害時引き渡し訓練」を実施します

6月5日（木）に「災害時緊急引渡し訓練」を行います。今年で3回目になります。

ここ数年、豪雨による水害や地震などの大きな自然災害が発生しています。今年も高温で雨量が多い夏になるという予報が出ています。また、不審者による学校や園への侵入事件も発生しています。

こうした中、この訓練は、もしもの事態に臨機応変に対応できるよう、また子どもを無事に保護者に引き渡せるよう、国が定める「認定こども園教育・保育要領」に実施するように定められています。

これまで2回の訓練をしてきましたが、そこで見えてきた課題や保護者様のご意見を参考に、災害や事件等が起きた場合を想定して実施したいと思います。訓練の詳細については、5月30日にコドモンでお知らせしていると思います。

子どもたちは火災避難訓練や地震避難訓練、水難避難訓練など、何某かの避難訓練を毎月1回経験しています。訓練を重ねるたびに、避難の所要時間が短くなり、避難の仕方が上手になってきています。「災害時緊急引渡し訓練」も、だんだんとスムーズにできるようにしていきたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

農業体験（田植え）・小動物とのふれあい体験

6月25日（水）に、白石町にある県立佐賀農業高校のご協力とご厚意により、今年度も年長児は農業体験（田植え・稲刈り）と小動物とのふれあい体験をすることになりました。

当日はどろどろの田んぼに入り、稲の苗を手植えします。また、農業高校の果樹園の探検や飼育してあるうさぎやブードル、モルモットなどの小動物とふれあう体験もします。そして、秋には自分たちが植えた稲の収穫、「稲刈り」のお手伝いをする計画です。

子どもたちの農業体験や小動物とふれあう体験はとても貴重です。米の価格が高騰し、これからの食生活が変化するかもしれません。米作りの体験は、今後の食育や食生活の糧になればいいなと思います。

新規採用の保育士のための「公開保育」について

今年度も佐賀県教育委員会から依頼があり、6月18日（水）に新規採用保育者の研修のために公開保育を実施します。今年度、県内のこども園や保育所、幼稚園等に新規で採用された先生たちが、ふたばの教育・保育を参観し、研鑽を積みます。ふたばは県内で『先駆的な教育・保育』を行っている園として、今年度もたくさんの保育者の学びの場となりそうです。

0・1園舎の床貼り工事について

子どもたちにとってより安全で快適な園舎となるように、夏期休業中の8月に、0・1園舎（ひだまりの部屋）の全ての床にクッションフロアを貼る予定です。貼り付け工事の期間等の詳細については、決まり次第コドモンでお知らせします。

工事期間中は別室での保育となります。子どもたちや保護者の方には何かとご不便やご迷惑をおかけすると思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

屋外プールを設置しないことについて

今年度も昨年度に引き続き、屋外の大プールを設置しないことにしました。ここ数年、猛暑の夏となり、熱中症への対策が求められるようになってきました。園の大プールは浄化式循環型のプールでないため、毎日プールの水を入れ替えなくてはなりません。プールに水をためるために時間がかかり、プールが使えるようになる頃には、すでに熱中症指数が『厳重警戒』や『危険』の指数になり、屋外での活動ができなくなります。屋外に設置している大プールも利用できません。

こうした状況を踏まえ、「プールの水を入れ替えても利用できないのであれば、水の無駄遣いになり、SDG'sに反する。」「今年の夏も、昨年以上に暑くなるという予報が出ていて、一層の熱中症対策が必要である。」「水遊びを熱中症指数が上がる前にできたらいい。そのためには大プールではなく、たらいや小さいプールを使って、工夫すれば楽しい水遊びができる。」など、職員会議で意見を出し合い検討をしました。

また、幼児教育・保育要領や保育所指針の中には、「水遊びをさせる」ことはありますが、「プール指導をする」という事項はありません。「プール指導」は小学校以上の体育の中で行うようになっています。

こうした事由により屋外の大プールを設置しないことにしました。

今年も熱中症の危険が高まりそうです。こどもの安全を考えながら、楽しい水遊びができるように工夫していきたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いします。